

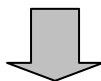
授業改善推進プラン【外国語活動】

谷戸第二小学校

1 日常の学習における課題分析

新学習指導要領に照らした本校児童の課題

- ・言語や文化について体験的に理解を深める
 - ・積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図る
- ◎基本表現の習得の差が大きく、ゲームや場面設定の対話の中で、自信をもって活用している児童がいる一方で活用しきれていない、または自信がもてず消極的な児童もいる。
- ・外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむ
- ◎ゲーム、クイズ、チャンツなどを通して発音や単語、基本表現の習得は楽しんで行うが、それらの定着には欠けている。また、その定着の開きが次への意欲の度合いに関わってきている。



2 授業改善の方策

- ◎基本表現や単語習得の定着に向けて
- ・授業後に「振り返りカード」の活用
記入させることで、児童は授業毎に活動内容を振り返り、身についたことを確認する。教師は、本時のねらいに合った活動ができたかを児童の振り返りカードから見取り、次の活動に生かす。
 - ・**学年、学級に応じてスモールステップで指導する**
クイズ、ゲーム、チャンツを効果的に使う。そのためにも振り返りカード、授業の様子などから実態把握と前時、本時、次時のつながりを考えた指導を意識する。1時間の中で必ず児童全員が話す機会を設ける。
 - ・**「イングリッシュフレーズ」の活用**
外国語活動の時間だけでなく、学校生活やその場に応じた環境のなかで使っていくことで、コミュニケーション能力を高める。また、授業のあいさつの中で、設定することで、簡単なフレーズから無理なく、児童の実態に応じて工夫する。
- ◎理解の差をうめていくために
- ・英語ノートの活用
英語ノートを活用することで、誰にとっても学習の流れが分かりやすくなると同時に担任も指導がしやすくなる。活動のバリエーションが広がる。いろいろな学び方(ゲーム、チャンツ、絵を描く、歌を歌う、クイズ、インタビューなど)ができるので、習得の方法が偏らず、得意不得意に陥らない。
 - ・振り返りカードの活用
指導者が児童のがんばりや不安を見取り、次の指導や声かけに生かし、コミュニケーションを積極的に図ろうとする気持ちを支援する。
 - ・学級担任とALTの役割を明確にする。
学級担任は、積極的に外国語を使ってコミュニケーションを図ろうとする姿を児童に示す。ALTは、ネイティブスピーカーとして本物の外国語を伝える。児童は、それらの姿から、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度や伝える気持ちを学ばせる。